



平成 27 年 1 月 20 日（火）富山大学人間発達科学部附属小学校にて  
「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」  
「くすり教室：実験講座」を開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-Do）は、国民に「くすり」を安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にも「くすり」のことを知ってもらう授業や体験実験を行っています。

富山大学人間発達科学部附属小学校の校長 根岸秀行先生、副校長 荒治和幸先生、主幹教諭 橋本大一郎先生をはじめ学校関係者、富山大学薬学部のご協力により、平成 27 年 1 月 20 日（火）、富山大学人間発達科学部附属小学校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」を 6 年生対象に下記の内容で開催しました。開催前日、前々日は富山大学杉谷キャンパス（薬学部）にて、NPO J-DO の鍋島俊隆理事長、新田淳美会員、間宮隆吉会員、毛利彰宏会員および富山大学大学院医学薬学研究部・薬学部の宮本嘉明先生、宇野恭介先生、名城大学薬学部生（2 名）が富山県内の薬剤師（8 名）、富山大学の大学院生・学部生（29 名）に対して講義内容や実験手順の説明と実演を行いました。当日は、小学生 79 名（6 年生）がくすり教室：実験講座に参加しました。授業と体験実験は大変分かり易かったと大好評でした。

制作：名城大学薬学部病態解析学 I  
（山本文哉、毛利彰宏、野田幸裕）  
監修：名城大学薬学部 地域医療  
薬局学講座  
NPO J-DO（鍋島俊隆）





## 富山大学人間発達科学部附属小学校における

### 「くすり教室」

日時：平成27年1月20日（土）9時30分～11時30分

場所：富山大学人間発達科学部附属小学校 多目的室

内容

- ・「実験を始める前のお話し」：Q&A方式

くすりをどのように飲んだら良くきき、副作用を防ぐことができるか、名城大学薬学部の学部生がスライドを使ってわかりやすく説明するため、Q&A方式で小学生が答える参加型で行いました。皆元気に挙手し、大変にぎやかとなりました。

- ・「体験実験」

小学生は14グループ（1グループ5～6名）に分かれ、内容をより理解できるように、NPO J-Doの鍋島俊隆理事長を中心に、新田淳美会員、間宮隆吉会員、毛利彰宏会員、富山大学の宮本嘉明先生、宇野恭介先生、名城大学および富山大学の大学院生・学部生が補助しながら、体験実験を行いました。

<実験項目>

1. どうして「カプセル」になっているのだろう？
2. コップ1ぱいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？
3. 水がなくても飲める錠剤があるのを知ってる？
4. 「ざやく」って何度で溶けるんだろう？
5. 胃でとけずに、腸でとけるくすりがあるのを知ってる？
6. くすりを「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
7. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？

